

円陣～エンジン～



令和元年 10月 17日

根獅子小 校内研修通信 No10

文責 松田 優子

今日は、5・6年生の研究授業です。今年度初めての複式授業での授業研究会です。井上先生には、指導案作成、事前の授業など大変お世話をお掛けいたしました。今日の授業もどうぞよろしくお願いいたします。

参観させていただく私たちも、複式での授業の見方など更に磨きをかけながら、実りある研修会にしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の授業の視点を井上先生と相談させていただいて、授業の視点を主に2つ決めています。教科的・指導的観点からと人権的な視点から一点ずつです。参観の際の視点にいただければと思えます。

【人権的視点】

6年・・・学び合いの中で、理解できている子と理解できていない子の関わり。

※ 6年生は、学力差が大きいので、教え合いは授業の中での大きなポイント。教え合える雰囲気づくり、人間関係、わからないことをはっきり言える支持的風土ができているか。

5年・・・学び合いの中で、相手の話をしっかり聞いて反応ができているか。

※ 5年生は、自分で考えを持てる子が多いが、理解できている反面、他の意見を聞こうとしない、よさに気付こうとしない子もいる。

【教科的視点・指導的視点】

共通・・・本時の目標が達成できているか。

教師の渡り方（複式授業での教師の指導の仕方）

※今年度、初めて複式の学級での指導を行っている井上先生がぜひ先生方の意見をお聞きしたいと思えます。これまでのご自分の経験と合わせながら参観していただければと思えます。

また、今回も児童一人一人を見てもらえればと思えます。昨日の事例研で名前が挙がった児童の他、6年生のI君、K君、Aさん、5年生のSさん、Aさんを中心に見ていただければと思えます。

どうぞ宜しくお願いします。